

お役立ち医療情報

第6話 C型肝炎

■C型肝炎、大丈夫ですか？

現在、日本国内には、“C型肝炎”の感染者が200万人以上いるとされています。ところが、自分が感染している事に気が付いてない人が多いのです。それは、C型肝炎ウィルスの存在が明らかになってから日が浅く、感染しても自覚症状が無い為なのです。しかし、自覚症状が無いからと言って放置しておけば慢性化してしまい病状が進行すると肝硬変や肝臓癌になる可能性があります。定期的に検査を受けるなどして感染原因に少しでも心当たりがある場合にはすぐに再検査と感染している場合は早めに治療を受けましょう。

■チェックしましょう！！

下記の項目の中に一つでも当てはまる人は、C型肝炎に感染している可能性があります。念の為、必ず医師に相談して検査を受けて下さい。

- 1992（平成4年）年以前に輸血を受けた事がある方。
- 長期間、血液透析を受けている方。
- 輸入非加熱血液凝固因子製剤の投与をされた方。
- 輸入非加熱血液凝固因子製剤と同等のリスクがある非加熱凝固因子製剤を投与された方。
- 大きな手術を受けた方。
- 肝臓移植を受けた方。
- 薬物乱用者、入れ墨をされている方。
- ボディーピアスをしている方。
- フェブリノゲン製剤を投与された方。
- その他、過去に健康診断等で肝臓機能検査で異常を指摘された方。



■C型肝炎の特徴



- 輸血や注射などの血液を介して感染する。
- 感染初期の症状は、A型、B型に比べて軽く、症状が出ない場合もある。
- 慢性化するケースが多く、自然治癒する事はほとんどありません。

■治療方法は・・・

現在は、治療の中心は、“インターフェロン”と言う抗ウイルス剤の注射です。インターフェロン治療を受けた人は、30%が完治しており、それ以外でも肝機能を改善、肝硬変や肝臓癌になる危険を減らすなど、治療を受けた人の90%に効果が見られています。また、“リバビリン”と言う抗ウイルス薬をインターフェロンと併用する治療が導入されることで、完治する方の割合が増す事が見込まれています。



■予防方法は・・・



- 歯ブラシなどを併用しない。
- 他人の血液を素手で触らない。
- 入れ墨やピアスは清潔な器具で行う。
- 性行為には、コンドームを使う。

■治療方法は・・・

- 日常生活を規則正しく。
- 飲酒は控えましょう。
- 定期的に医療機関で受診しましょう。
- 薬を勝手に止めたり、担当医に無断で自己判断の薬を服用しない。



以上、とりあえず、何らかの心あたりがある方は、今すぐ医師、医療機関に相談しましょう。